

特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター

第22回通常総会

日時 2021年6月9日(水) 18時30分～

場所 北海道NPOサポートセンター 会議室
(札幌市中央区南8条西2丁目市民活動プラザ星園)

※ オンライン会議ツール「zoom」を活用します

議事次第

1. 開会 定足数の確認
2. 理事長挨拶
3. 議長及び議事録署名人選任
4. 議案審議
 - 第1号議案 2020年度事業活動報告(案)に関する件
 - 第2号議案 2020年度会計決算(案)・監査報告に関する件
 - 第3号議案 2021年度事業活動計画(案)に関する件
 - 第4号議案 2021年度予算(案)に関する件
 - 第5号議案 その他
5. 議長退任
6. 閉会

2020年度 北海道 NPO サポートセンター 活動報告

1. ビジョン・ミッション

ビジョン	北海道 NPO サポートセンターは、市民が主体的に社会課題に取り組み、新しい価値を創造することで、誰もが排除されず・多様性が保障された社会を目指します。
ミッション	北海道 NPO サポートセンターは、「社会課題解決」「価値創造」「市民参加」が実現されるように、NPO・市民・企業などをサポートします。

2. 各事業の実績一覧

■思いを形にする

コンサルティング機能

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	相談事業	1) 立ち上げ・創業相談	◇事務所にて立ち上げに関する相談を実施します。 (月～金 10時～18時)	立ち上げ 10件
		2) 運営相談	1) 法人運営、会計、経営等の相談を実施します。 (月～金 10時～18時) 2) 事業承継の相談に対応します 3) コロナの影響に対する相談窓口を開設します 【新規】	1) 法人運営、会計、経営等の相談 運営 55件、他2件 →法人運営：総会の運営や助成金、会計：役員報酬等についての相談が多い 2) 継承のための手続きの相談 1件 3) コロナの影響に対する相談窓口を開設 約80件→全道の中間支援組織と共同実施
2	ソーシャル活動起業・交流の場づくり	1) NPOの学校事業	◇NPO・ソーシャル活動に関心のある市民のための学校（講座等）を市民活動プラザ星園で実施します。 ※重点課題	1) 感染症災害の蔓延により、2020年度の開校が見通せないため、6月～8月に「よのなかスクール / ONLINE」（計5回）を開催しました。＜参加状況＞延べ52名 2) 当初計画していたプログラムを再構築し、10月～3月に計6回を実施 延べ47名

TOPIC 1 「コロナアクション」・・・ 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症防止対策の影響を受けた NPO 向けの取り組みを全道の中間支援組織とともに行いました

<実績>

(1) NPO への情報提供

- ・コロナ感染症対策に関する補助金・助成金等の情報などを ML 通じて情報発信 **計 24 回**

(2) 相談対応・経営支援

- ・相談窓口を開設して総会運営や持続化給付金、デジタル化応援隊の申請サポートなどを実施 **約 80 件**
- ・活動再開にむけた指針の作成・公開

(3) 政策提言・実態把握

- ・NPO 向けの支援策構築について道に要望書を提出し、意見交換を実施しました **要望書提出 2 回**
- ・コロナ感染症の影響、臨時交付金の活用状況を把握するためのアンケートを実施 **計 3 回**

(4) 資金調達支援

- ・北海道 NPO ファンドと連携して全道の団体への助成をサポート **助成 11 団体 / 総額 5000 万円**

<成果>

- ・国・自治体によるコロナ感染症に関する支援策の情報を必要とする NPO に届け、活用に結びました。
- ・北海道による支援情報の公開や助成に繋がり、道の NPO 向け支援の拡充を実現しました。
- ・北海道 NPO ファンド、札幌市との連携によってコロナ禍で活動する NPO の資金の調達に貢献できました。

TOPIC 2 NPO 学校プロジェクト「よのなかスクール」を開催しました



<内容>

第一線で活躍してきたリーダーによる知識継承、最先端の技術獲得のための体系化された研修プログラムを用意することにより、NPO スタッフの能力開発を推進するとともに、新しいNPO人材の確保も目的として実施しました。2020年度はコロナ感染症対策としてオンラインで実施することになりました。

<実績>

日にち	タイトル	講師/ゲスト	参加人数
6月6日	よのなかスクール / Online #01 「ヴィズコロナ/ポストコロナのNPO」	北海道 NPO サポートセンター 定森光/金榮知子/堀直人	11
6月28日	よのなかスクール / Online #02 「ステイホーム時代のイベント」	合同会社 Staylink 共同代表 柴田涼平氏	10
7月12日	よのなかスクール / Online #03 「今すぐやってみたくなる！ファンドレイジング入門」	NPO 法人みなと計画 理事長 橋本正彦氏	13
7月18日	よのなかスクール / Online #04 「人を巻き込み、育ち、共に活動をつくる」	ezorock 代表理事 草野竹史氏	13
8月29日	よのなかスクール / Online #05 「上半期振り返り・オンライン飲み会」	無し	5
10月27日	よのなかスクール 2020 実習①「プロジェクトのはじめかた/進めかた」	北海道 NPO サポートセンター 中西希恵 /定森光/堀直人	6
11月29日	よのなかスクール 2020 事例研究①「まちづくりの本質がここにある」	NPO 法人地域生活支援ネットワークサロン 日置 真世氏	13
12月5/6日	よのなかスクール 2020 オンライン合宿 「対話コミュニケーション入門」	合同会社 WORKARTS 代表社員 反町恭一郎氏	7
12月20日	よのなかスクール 2020 事例研究②「キラキラだけじゃ済まされないでしょ？」	札幌市ホームレス相談支援センターJOIN 相談支援員 小川遼氏 株式会社リペリエンス 代表 小松輝氏	10
3月7日	よのなかスクール 2020 事例研究③「場の力はどこに宿るのか」	NPO 法人リカバリー 代表 大嶋栄子氏 イロイロリビング 代表 坪田佳之氏	7
3月27日	よのなかスクール 2020 クロージング/オンラインご苦労さん会	無し	4

<成果>

- ・コロナ感染症拡大のなか、オンラインを活用して定期的に行うことができました。オンラインとなったことで札幌から離れたNPOの参加があり、必要としている団体に研修の機会を提供できました。
- ・テーマによっては新規の参加者もあり、NPO等に関心のある高校生の参加もありました。

<課題・今後>

・参加者が固定されており、周知に課題がありました。他の企画も含めてですが、当団体のことを知らない方々に向けて当団体の取組を周知する必要があり、次年度は広報に力を入れていく必要があります。→札幌以外の市町村に印刷物を配布することや道との連携を図って幅広い地域の団体に周知が出来る仕組みの構築を検討していきます。

No	事業名		事業内容	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	サポート事業	1) NPO 法人バックオフィス支援	①会計サポート ※重点課題 ②事務局代行サポート ③広報サポート (HP 作成等)	①サポート件数：23 団体 新規 2 団体/NPO 情報 12 月号にソリマチの会計王チラシ/1 月号に会計サポートのチラシを同封/その結果、会計王の購入 3 件/会計サポートの問い合わせ 3 件 ②2 団体 ③HP 作成依頼は 2 件
		2) 共同事務所運営事業	① 連携 団体 等 の 事務局 運営 ・「NPO 推進北海道会議」・「北海道 NPO ファンド」・「北海道 NPO バンク/NPO バンク事業組合」の事務局機能。 ② 共同 オフィス 運営 ・複数の 団体 が 共同 で 利用 する オフィス を 運営 します。	① 予定 通り 実施 ② 星園 に 部屋 を 借り、複数 の 団体 が 共同 で 利用 する オフィス を 運営 しました 実績：3 団体 が 入居
		3) 評価	① 組織 診断 ・ 組織 評価 / 事業 評価 の 普及 促進 ② 社会的 インパクト 評価 促進 事業 を 北海道 NPO ファンド の 事業 と して 実施。	① 組織 評価：JCNE の グッド ガバナンス 評価 研修 を 修了 … スタッフ が グッド ガバナンス 評価 員 に。 ② 社会的 インパクト 評価：昨年 から の 4 団体 に 継続 して 実施。
2	人材育成事業	1) 若手スタッフ研修会		・ NPO 学校 (よのなかスクール) の実績
		2) テーマ別研修会	① 会計 定期 学習 会 ※ 重点 課題 ② リーダー 懇談 会	① 会計 セミナー：以下 に 記載 ② 実施 なし
3	資金調達事業	1) NPO への助成	北海道 NPO ファンドと連携	・ 北海道 NPO ファンド と 連携 して 休眠 預金 事業、第 2 期 まち の プロジェクト 基金、いぶり 基金、越智 / 市民 活動 支援 基金、コロナ 対策 助成 を 実施 ・ 社会的 インパクト 評価 モデル 事業
		2) NPO への融資	北海道 NPO バンクと連携	例年 通り 連携

TOPIC 3 サポート事業として「会計サポート」を強化しました

<内容>

・昨年度の会計学習会を引き継ぎ、有料の会計セミナーを企画。コロナ禍の影響で対面での開催は見合わせ、オンラインで実施しました。

日にち	内容	参加者数
11月12日	第1回「会計オンラインセミナー 会計実務編」	2 団体 1 個人 計 4 名
1月21日	第2回「会計オンラインセミナー 会計実務編」	4 団体 1 個人 計 6 名
2月16日	第3回「給与計算編」	団体 3 名 計 3 名

<今後>

- ・定期的にオンラインセミナーを開催する予定です
- ・今後は会計だけでなく団体の情報発信を後押しできるようにサポートできるようにしていきます
→次年度は情報発信に悩みを抱えている団体の相談実績を積み上げていきます

No	事業名		事業内容／当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民と NPO をつなぐ事業	1) NPO への就業支援	①求人・就職促進のための有料職業紹介事業 ・有料職業紹介を取得し、NPO への就職が促進するための事業を検討します。 ・許可申請を終え、NPO の学校等の他事業と連携した事業スキームを検討します。 ・中核スタッフ等を募集している団体情報を集めます。	今年度は実績なし
		2) ボランティア促進	ボランティア参加する市民が増えるための取り組みを実施。	NPO 情報の編集ボランティアを募集しました 実績：2人 イベントレポートや団体取材で会報誌に掲載する原稿を作成。札幌市とのコロナ対策協議会助成採択団体の取材も行っていただきました。
2	行政と NPO をつなぐ事業	1) NPO 基礎講座実施	NPO 基礎講座を自治体と連携して実施。	実績なし
		2) 協働の在り方検討	協働が促進されるための講座等 を検討。	実績なし
3	企業・金融機関等と NPO をつなぐ事業	1) 企業へのコーディネート事業	企業と NPO をつなぐコーディネート事業のあり方を検討。 ※重点課題	・IBM の教育プログラムの活用（ソーシャルビジネスネットワークからの依頼） →マッチングはありませんでした ・大学連携プロジェクト →ろうきん、北洋銀行、北海道銀行と共同で実施予定でしたがコロナ感染症対策のために今年度は実績無し
		2) 金融機関向け NPO 説明会	NPO への理解を深める説明会の開催を検討します。	実績なし
		3) 北海道ソーシャルビジネス支援ネットワークへの参画	・「ソーシャルビジネス in 札幌」への共催等を実施します。 ・政策金融公庫及び北海道労働金庫ら金融機関との連携を強めます	12 月にネットワーク会議を実施。イベントは今年はなし。
4	地域と NPO をつなぐ事業	1) 自治会、商店街等との連携	地域課題に取り組む人材を増やす事業を検討。	実績なし
5	NPO と NPO をつなぐ事業	1) NPO 同士の交流の場づくり	①一杯の会 (NPO 北海道推進会議主催)	2021 年 1 月から読書会を毎月開催、図書は「日本近代史」
		2) NPO 界若手交流の場づくり	①シミサル (若手交流会) を年 2 回実施します	10 月 19 日「「NPO で活動する」を科学する」を実施 10 名参加 (若手中心)
		3) テーマ別ネットワーク構築	①石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク ②災害時の NPO ネットワークづくり	①石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク事務局を実施 ②北の国災害サポートチームの事務局を実施

6	中間支援センター同士をつなぐ事業	1) 中間支援センター交流・研修会	道内各地の中間支援センターとの交流・研修会を年1回実施します	12月4-5日室蘭で実施 20名参加(オンライン10名) →指定管理をテーマ
7	市民と社会をつなぐ事業	1) 高齢者の社会活動促進	①アクティブシニア事業 ②生活支援コーディネーター養成研修(北海道高齢福祉課委託事業)	①アクティブシニア事業 NPO法人北海道社会的事業所支援機構事業が実施するWAM助成事業及び北海道高齢福祉課委託事業のアクティブシニア事業の事務局を一部実施 ②生活支援コーディネーター養成研修 8月に基礎編を実施、10月より全道12か所において応用編を実施終了(12月以降はオンライン実施)
		2) 道内避難者への支援	①福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 ・福島県からの避難者に対する相談・交流会(ツアー等)を実施 ②道内避難者心のケア事業 ・避難者への情報誌の発送、相談窓口等	①相談窓口の開設。交流会はオンラインで開催。 ②情報誌「からから便り」の発送(全4号)、オンラインで交流会を開催

TOPIC4 生活支援コーディネーター養成研修を実施しました

<内容>

・全道の生活支援コーディネーター向けに、基礎編1回(2日間の日程、札幌開催)、応用編12回(1日の日程、12振興局で開催(一部オンライン開催))を実施しました。

<今後>

・研修事業を通じて明らかになった課題等を取りまとめていきたいと思っております。必要に応じて関係者へのインタビューやアンケート調査にも取り組んでいきます。

■思いを醸成する

社会創造機能

No	事業名		事業内容/当初計画	実績
	メイン項目	サブ項目		
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催。	実績なし
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	①道内NPO法人の現況分析	残念ながら実施に至りませんでした。
		2) 政策提言	ロビー活動等への取り組みを検討。	・コロナ感染症対策関係で北海道庁に要望書提出2回 →助成金の実施など ・困窮者支援団体と行政との橋渡し
3	情報発信事業	1) NPO情報の発行	毎月「北海道NPO情報」を発行し、会員等に送付。	予定通り毎月発行。編集ボランティアの協力があります。
		2) HP・SNSを通じた情報発信	HP・FB・Twitterで情報を発信。また、HPのリニューアルを検討。	◎実績 感染症災害発生により、一層の寄付文化の定着と互助の充実が必要であると痛感するとともに、いまこそ「NPOの発展」「NPOの拡張」の時期であると考えたことから、①寄付募集②活動募

				集③協働推進④情報発信が一体となったオンライン・プラットフォームの形成に係る企画案を策定しました。
4	社会実験事業	1) 研究会事業		特に進展はないですが、推進会議でやるにふさわしいテーマを模索しています。
		2) 休眠預金の検討	・休眠預金に関する情報収集等。 ・資金分配団体の公募を検討。	2020 年度一般枠とコロナ緊急枠の資金分配団体に採択されました。それぞれコープさっぽろとサポセン、HIT（北海道総合研究調査会）とサポセンが協力団体です。

TOPIC5 休眠預金による事業が始まりました

・休眠預金の資金分配団体である一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）および NPO 法人北海道 NPO ファンドと連携して、採択団体（実行団体）の取組が持続的に発展できるよう伴走支援を行いました。

<内容>

■2019 年度休眠預金事業（一般枠）

- (1) 運営協議会（一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT） & サポセンで構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

公募説明会の企画・運営／PO 研修への参加／助成プログラムの策定／助成申請相談窓口
審査準備／採択団体向け事前研修の企画／契約に必要な各種必要書類の作成、など

■2020 年度休眠預金事業（コロナ緊急枠）

- (1) 運営協議会（北海道 NPO ファンド & HIT で構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

■2020 年度休眠預金事業（一般枠）

- (1) 運営協議会（北海道 NPO ファンド & コープさっぽろで構成）の運営
- (2) プログラムオフィサー業務

3. その他活動・事業について

(1) 委員会等への出席

- ①審査委員・・・控除対象特定非営利活動法人審査委員会、ろうきん助成、全労済助成
- ②委員会等・・・子どもの貧困対策ネットワーク

(2) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標

実績：2020 年度末 現在 173 団体（前年比+9）、個人 63 名（前年比-8）

2020年度 北海道NPOサポートセンター 決算報告

活動計算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

(単位:円)

勘定科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費		2,243,000	
2. 受取寄付金		136,900	
3. 事業収益			
① 思いを形にする事業	60,000		
② 思いを支える事業	5,310,491		
③ 思いをつなげる事業	23,324,856		
④ 思いを醸成する事業	5,859,617	34,554,964	
4. その他収益			
受取利息	188		
雑収益	7,503	7,691	
経常収益計			36,942,555
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	398,400		
臨時雇賃金	8,000		
通勤費	3,300	409,700	
(2) その他経費			
仕入高	272,800		
業務委託費	19,574,109		
諸謝金	2,115,000		
印刷製本費	1,052,604		
広告宣伝費	10,200		
会議費	7,200		
会場費	14,770		
旅費交通費	787,827		
通信運搬費	1,233,021		
消耗品費	546,233		
水道光熱費	93,930		
地代家賃	870,600		
賃借料	697,270		
減価償却費	277,114		
保険料	137,320		
諸会費	99,000		
租税公課	1,050		
研修費	40,000		
支払手数料	396,228		
雑費	0	28,226,276	
事業費計		28,635,976	
2. 管理費			
水道光熱費	169,965		
地代家賃	771,600		
租税公課	778,400		
上記以外の経費 (注記:2.事業費及び管理費の内訳 参照)	204,368	1,924,333	
管理費計		1,924,333	
経常費用計			30,560,309
当期経常増減額			6,382,246
III 経常外収益			
過年度損益修正益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
過年度損益修正損		260,571	
経常外費用計			260,571
当期正味財産増減額			6,121,675
前期繰越正味財産額			31,250,411
次期繰越正味財産額			37,372,086

その他の事業会計該当なし

貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部		
I 資産の部			II 負債の部	
1. 流動資産			1. 流動負債	
現金・預金	26,481,743		未払金	4,397,730
未収金	14,993,439		未払法人税等	70,000
前払費用	131,600		未払消費税	700,600
立替金	53,886		預り金	22,993
商品・製品	0		前受金	757,896
流動資産合計		41,660,668	前受会費	30,000
2. 固定資産			流動負債合計	5,979,219
(1) 有形固定資産			2. 固定負債	
工具器具備品	470,237		固定負債合計	0
(2) 投資その他の資産			負債合計	5,979,219
敷金	120,400		III 正味財産の部	
出資金	1,100,000		前期繰越正味財産	31,250,411
固定資産合計		1,690,637	当期正味財産増減額	6,121,675
固定資産合計			正味財産合計	37,372,086
資産合計		43,351,305	負債及び正味財産合計	43,351,305

その他の事業会計該当なし

財 産 目 録 (案)

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金 手許現金	11,864		
普 通 預 金 北洋銀行	5,869,807		
北海道労働金庫	14,825,801		
北海道銀行南一条支店	3,281,512		
郵 便 振 替 郵便局	2,492,759		
未 収 金 事業収入等	14,993,439		
前 払 費 用 次年度分家賃	131,600		
立 替 金 諸経費立替	53,886		
流動資産合計		41,660,668	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品 コピー機(償却済)	1		
パソコン 3台	203,961		
電話機器	266,275		
(2)投資その他の資産			
敷 金 市民活動プラザ星園	120,400		
出 資 金 NPOバンク	1,100,000		
固定資産合計		1,690,637	
資産合計			43,351,305
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金 業務委託費他	4,397,730		
未 払 法 人 税 等 当期確定法人税等	70,000		
未 払 消 費 税 当期確定消費税	700,600		
預 り 金 源泉所得税	22,993		
前 受 金 休眠預金緊急枠	757,896		
前 受 会 費 次年度分年会費	30,000		
流動負債合計		5,979,219	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,979,219
正味財産			37,372,086

その他の事業会計該当なし

財務諸表の注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法及び3年均等償却にて償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2.事業費及び管理費の内訳

事業費及び管理費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

	事業費				管理費	合計
	思いを形にする	思いを支える	思いをつなげる	思いを醸成する		
(人件費)						
給料手当	0	50,400	96,000	252,000	0	398,400
臨時雇賃金	0	0	8,000	0	0	8,000
通勤費	0	3,300	0	0	0	3,300
人件費計	0	53,700	104,000	252,000	0	409,700
(その他経費)						
仕入高	0	272,800	0	0	0	272,800
業務委託費	5,860	1,657,174	14,748,577	3,162,498	0	19,574,109
諸謝金	60,000	0	2,055,000	0	0	2,115,000
印刷製本費	231	22,993	1,009,234	20,146	0	1,052,604
広告宣伝費	10,200	0	0	0	0	10,200
会議費	0	1,200	6,000	0	3,290	10,490
会場費	0	0	11,480	3,290	0	14,770
旅費交通費	8	2,926	666,005	118,888	21,494	809,321
通信運搬費	684	69,955	591,738	570,644	53,276	1,286,297
消耗品費	721	79,400	403,846	62,266	45,468	591,701
水道光熱費	0	80,670	13,260	0	169,965	263,895
地代家賃	0	870,600	0	0	771,600	1,642,200
賃借料	713	54,886	581,084	60,587	0	697,270
減価償却費	554	42,676	186,775	47,109	0	277,114
保険料	269	20,814	93,258	22,979	0	137,320
諸会費	0	79,000	0	20,000	20,000	119,000
租税公課	0	0	0	1,050	778,400	779,450
研修費	0	30,000	10,000	0	0	40,000
支払手数料	11,197	50,568	212,114	122,349	56,990	453,218
渉外費	0	0	0	0	3,850	3,850
雑費	0	0	0	0	0	0
その他経費計	90,437	3,335,662	20,588,371	4,211,806	1,924,333	30,150,609
経常費用計	90,437	3,389,362	20,692,371	4,463,806	1,924,333	30,560,309

3.事業収益の内訳

事業4部門の内訳は以下の通りです。

事業部門名	金額	備考
思いを形にする	60,000	
NPOの学校	60,000	よのなかスクール参加費
思いを支える	5,310,491	
サポート事業	228,504	書類作成サポート、デジタル化応援隊事業等
シェアオフィス運営事業	1,037,856	306号室家賃等
人材育成事業	177,745	会計税務オンラインセミナー、組織基盤強化WS(日本NPOセンター)
事務受託事業	1,315,370	7団体(単発事務作業も含む)
会計サポート事業	2,308,416	日常会計等サポート、会計セミナー実施
書籍販売	2,600	2冊
会計ソフト	240,000	会計王NPO法人スタイル(バージョンアップを含む)
思いをつなげる	23,324,856	
中間支援センター研修	4,000	研修参加料
道内避難者心のケア事業	8,723,726	北海道総合政策部地域振興局地域政策課より受託
福島県県外避難者等への相談・交流・説明会	6,681,378	ふくしま連携復興センターより受託
札幌市協議会	2,840,259	
生活支援コーディネーター養成研修事業	4,777,116	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課より受託
その他	298,377	真如園
思いを醸成する	5,859,617	
外部団体委員会/講師謝金	71,700	助成金等審査会、各種委員会などへの出席
情報発信	4,000	『北海道NPO情報』のチラシ同封サービス
休眠預金事業	5,783,917	2019年度通常枠:連携団体HITより受託 2020年度緊急枠及び2020年度通常枠:連携団体北海道NPOファンドより受託
合計	34,554,964	

4.固定資産の増減内訳

固定資産の増減の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(1)有形固定資産						
工具器具備品						
コピー機	500,000			500,000	△ 499,999	1
パソコン	126,592	306,940		433,532	△ 229,571	203,961
電話機器	615,600			615,600	△ 349,325	266,275
(2)投資その他の資産						
敷金	120,400			120,400	0	120,400
出資金	1,100,000			1,100,000	0	1,100,000
合計	2,462,592	306,940	0	2,769,532	△ 1,078,895	1,690,637

会計監査報告

監査を実施した結果、財務諸表はいずれも正確にして適法であることを認めます。

2021年 5月 13日

監事 嶋 明美

2021年度 北海道 NPO サポートセンター 活動計画

1. ビジョン・ミッション

ビジョン	北海道 NPO サポートセンターは、市民が主体的に社会課題に取り組み、新しい価値を創造することで、誰もが排除されず・多様性が保障された社会を目指します。
ミッション	北海道 NPO サポートセンターは、「社会課題解決」「価値創造」「市民参加」が実現されるように、NPO・市民・企業などをサポートします。

2. 各事業の実績一覧

■思いを形にする

コンサルティング機能

No	事業名		事業内容／2021年度
	メイン項目	サブ項目	
1	相談事業	1) 立ち上げ・創業相談	◇事務所にて立ち上げに関する相談を実施します（月～金 10時～18時）
		2) 運営相談	1) 法人運営、会計、経営等の相談を実施します（月～金 10時～18時） 2) 事業承継の相談に対応します 3) コロナの影響に対する相談窓口を開設 ①北海道内中間支援組織「コロナアクション」 【強化】 ②新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会 【強化】
2	ソーシャル活動起業・交流の場づくり	1) NPOの学校事業	◇NPO・ソーシャル活動に関心のある市民のための「NPOの学校」プロジェクトを実施します。6月開校式、7月以降開始予定。 【拡大】 →参加者のニーズ・立場の違いに配慮されるよう「よのなかスクール（プロジェクト立案）コース」「スキル向上コース（経営者向け、スタッフ向け）」の2コースを用意します。

■思いを支える

サポート機能

No	事業名		事業内容／2021年度
	メイン項目	サブ項目	
1	サポート事業	1) NPO法人バックオフィス支援	①会計サポート ②事務局代行サポート ③広報サポート（HP作成等） 【拡大】
		2) 共同事務所運営事業	①連携団体等の事務局運営 ・「NPO推進北海道会議」・「北海道NPOファンド」・「北海道NPOバンク／NPOバンク事業組合」の事務局機能。 ②共同オフィス運営 ・306号室を複数の団体が共同で利用するオフィスとして運営。3団体入居予定。
		3) 評価	①組織診断・組織評価/事業評価の普及促進 ②社会的インパクト評価促進事業を実施（北海道NPOファンド）
2	人材育成事業	テーマ別研修会	①会計講座・・・毎月1回程度実施 ②その他講座
3	資金調達事業	1) NPOへの助成	1) 北海道NPOファンドと連携します ・休眠預金等活用事業（助成先への伴走支援を中心に実施） ・北海道災害復興支援基金（災害への備え、コロナ感染症対策等） 【拡大】
		2) NPOへの融資	北海道NPOバンクと連携

No	事業名		事業内容/2021年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	市民と NPO をつなぐ事業	1) NPO への就業支援	①求人・就職促進のための有料職業紹介事業 ・今年度はニーズ把握およびプログラム開発をします 【新規】
		2) 大学連携プロジェクト	コロナ感染症拡大のために見直しを図ります
2	行政と NPO をつなぐ事業	1) NPO 基礎講座	NPO 基礎講座を自治体と連携して実施します
		2) 協働の在り方検討	協働が促進されるための講座、行政との交渉等を検討します。
3	企業・金融機関等と NPO をつなぐ事業	1) 企業へのコーディネート事業	企業と NPO をつなぐコーディネート事業のあり方を検討します。
		2) 北海道ソーシャルビジネス支援ネットワークへの参画	「ソーシャルビジネス in 札幌」への共催等を実施します
4	地域と NPO をつなぐ事業	1) 自治会、商店街等との連携	地域課題に取り組む人材を増やす事業を検討します。
5	NPO と NPO をつなぐ事業	災害支援ネットワーク	①北の国災害サポートチーム事務局として、災害支援に取り組む NPO、中間支援センター、行政等のネットワークづくりを実施します
		湿地保全ネットワーク	①石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク事務局として、湿地保全にかかわる NPO 同士をつなげる取り組みを実施します。
6	中間支援センター同士をつなぐ事業	1) 中間支援センター交流・研修会	道内各地の中間支援センターとの交流・研修会を年 1 回実施します。今年度は旭川開催予定
		2) コロナ感染症対応のネットワーク形成	道内の NPO 中間支援組織で構成する北海道内中間支援組織「コロナアクション」の事務局としてコロナ禍の NPO の支援を行います
7	市民と社会をつなぐ事業	1) 高齢者の社会活動促進	①北海道社会的事業所支援機構が実施する令和 3 年度アクティブシニア等活躍支援事業（北海道）の事務局をサポートします ②生活支援コーディネーター養成研修事業（北海道）を実施します ・自治体へのアンケートを行うなど、協働のまちづくりを検討します。 【強化】
		2) 道内避難者支援	道内避難者心のケア事業・・・避難者への情報誌の発送、相談窓口等

No	事業名		事業内容/2021年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催します。
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	道内 NPO 法人の決算書類の調査・分析を行います 【新規】
		2) 政策提言	NPO 等へのコロナの影響をふまえ、道・市への要望等を実施します
3	情報発信事業	1) NPO 情報の発行	毎月「北海道 NPO 情報」を発行し、会員等に送付。
		2) HP・SNS 等を通じた情報発信	HP・FB・Twitter で情報を発信。また、団体チラシや HP のリニューアルを検討。その他、従来情報を届けられてない団体・個人にアプローチする方法を検討します 【強化】
4	社会実験事業	1) 休眠預金等活用事業	・以下 3 つの枠の事業を、連携団体と共に採択団体（実行団体）への伴走支援を中心に実施します 2019 年度通常枠：「北海道未来社会システム創造事業」 2020 年度コロナ緊急枠：「北海道リスタート事業」 2021 年度通常枠：「子ども若者が主体の持続可能な地域づくり」 ・2021 年度募集の資金分配団体の公募を検討します 【新規】

重点課題

①NPOの学校／有料職業紹介事業を進展させ、NPOの人材育成&確保を図ります

- ・NPO・ソーシャル活動に関心のある市民のための「NPOの学校」プロジェクトを今年度も実施します。対面だけでなくオンラインのハイブリッド型にして、札幌以外の団体が参加しやすい環境で取り組んでいきます。また、合宿形式や道外の講師による講義を組み入れ、幅広い人たちの参加を目指します。
 - ・参加者のニーズ・立場の違いに応えられるように、以下の2つに分けて実施します。
 - 1) 新たにソーシャル活動に関わる方向けの「よのなかスクール（プロジェクト立案）コース」
 - 2) おもに経営者・スタッフ向けの「スキル向上コース」
 - ・昨年度の課題である周知に力を入れていきます。具体的には、札幌以外の市町村に印刷物を配布することや道との連携を図って幅広い地域の団体に周知が出来る仕組みの構築を検討してきます。
 - ・NPOの学校プロジェクトと連携し、NPOの人材確保に向けたプロジェクトも始動します。
- 希望する人材に関するNPOへのアンケートおよび人材育成・確保のためのプログラム開発を実施します。

②新型コロナウイルス(COVID-19)感染症防止対策の影響を受けたNPO向けの取り組みを行います

- ・新型コロナウイルス感染症防止対策によってNPOにも大きな影響が出ています。昨年度に引き続き、コロナ感染症による影響を受けたNPOへの支援および活動のサポートに取り組んでいきます。
 - (1) NPOへの情報提供・・・補助金・助成金等の情報などをML通じて情報発信
 - (2) 相談対応・経営支援・・・相談窓口の開設、デジタル化サポートなど
 - (3) 政策提言・実態把握・・・北海道等への要望/提言など
 - (4) 資金調達支援・・・コロナの影響を受けての活動助成の仕組みの検討

③会計以外のサポート事業も強化していきます

- ・会計だけでなく団体の情報発信等のサポートの仕組みを検討していきます。団体の規模・内容に合った情報ツール（HP以外にもFacebookやブログなど）を提案するような、情報発信に関する相談実績を積み上げていきます。また、コロナ禍でニーズが高まったデジタル化対応支援にも取り組んでいきます。

④休眠預金事業／さぽーとほっと基金の採択団体の伴走支援を担います

- ・休眠預金の資金分配団体である一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）およびNPO法人北海道NPOファンドと連携して、採択団体（実行団体）の取組が持続的に発展できるよう伴走支援を行います。
- ・「子ども若者が主体の持続可能な地域づくり」はコープさっぽろと運営協議会を構成して実施します。

休眠預金事業

資金分配団体	事業名	事業時期	採択団体数	助成額合計
北海道総合研究調査会	北海道未来社会システム創造事業	2019～2022年度	10（担当5）	約8,000万円
北海道NPOファンド	北海道リスタート事業	2020～2021年度	11	約5,000万円
北海道NPOファンド	子ども若者が主体の持続可能な地域づくり	2020～2023年度	3	約5,000万円

- ・札幌市・民間団体で構成する「新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会」のメンバーとして「さぽーとほっと基金」採択団体（一部）の伴走支援を行います。

3. その他活動・事業について

- (1) 委員会等への出席
 - ①審査委員・・・控除対象特定非営利活動法人審査委員会、ろうきん助成、全労済助成
- (2) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標 実績：2021.3.31 時点 173 団体、個人 63 名

活動予算書(案)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

(単位:円)

勘定科目	2020年度決算	2021年度予算
I 経常収益		
1. 受取会費	2,243,000	2,300,000
2. 受取寄付金	136,900	100,000
3. 事業収益	34,554,964	30,497,096
①思いを形にする事業	60,000	300,000
②思いを支える事業	5,310,491	4,855,800
③思いをつなげる事業	23,324,856	18,693,400
④思いを醸成する事業	5,859,617	6,647,896
4. その他収益	7,691	5,200
受取利息	188	200
雑収益	7,503	5,000
経常収益計	36,942,555	32,902,296
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	409,700	10,010,000
給料手当	398,400	7,500,000
臨時雇賃金	8,000	150,000
法定福利費		2,000,000
通勤費	3,300	360,000
(2) その他経費	28,226,276	23,573,248
仕入高	272,800	270,000
業務委託費	19,574,109	13,000,000
諸謝金	2,115,000	3,000,000
印刷製本費	1,052,604	1,000,000
広告宣伝費	10,200	10,000
会議費	7,200	10,000
会場費	14,770	700,000
旅費交通費	787,827	1,000,000
通信運搬費	1,233,021	1,300,000
消耗品費	546,233	700,000
水道光熱費	93,930	100,000
地代家賃	870,600	870,600
賃借料	697,270	700,000
減価償却費	277,114	190,648
保険料	137,320	120,000
諸会費	99,000	99,000
租税公課	1,050	3,000
研修費	40,000	100,000
支払手数料	396,228	400,000
雑費	0	0
事業費計	28,635,976	33,583,248
2. 管理費		
水道光熱費	169,965	180,000
地代家賃	771,600	771,600
租税公課	778,400	700,000
その他経費	204,368	228,000
管理費計	1,924,333	1,879,600
経常費用計	30,560,309	35,462,848
当期経常増減額	6,382,246	-2,560,552
III 経常外収益		
過年度損益修正益	0	0
経常外収益計	0	0
IV 経常外費用		
過年度損益修正損	260,571	0
経常外費用計	260,571	0
当期正味財産増減額	6,121,675	△ 2,560,552
前期繰越正味財産額	31,250,411	37,372,086
次期繰越正味財産額	37,372,086	34,811,534